

寒山寺梵鐘のレプリカ



4月

蘇州市政府代表団来訪。友好都市締結25周年記念として寒山寺梵鐘のレプリカの寄贈を受ける。

9月

蘇州市吳中区に池田市蘇州市市民交流センターと池田銀行蘇州駐在員事務所がオープン。

11月

友好都市締結20周年記念池田市友好訪問団が蘇州市を訪問。

2001

(平成13年)

水月公園に設置されている「石坊」



1992

(平成4年)

6月

蘇州市代表団が本市を訪問し、友好都市締結10周年を記念して、水月公園に設置の「石坊」除幕式に参加。

11月

友好都市締結30周年を記念し、市民訪問団が蘇州市を訪問。

2011

(平成23年)

2006

(平成18年)

2009

(平成21年)

4月

本市制施行70周年記念式典参加のため蘇州市代表団が来訪。



35周年記念切手を発行 (2016年)

2018

(平成30年)

6月

本市の慈恩寺と蘇州市の寒山寺が姉妹寺提携を結ぶ。



蘇州市について

蘇州市は江蘇省東南部に位置し、上海市に隣接しています。地域総面積は8,657km²、人口は約1,072万人です。

揚子江デルタという地理的条件に優れ、水陸交通の便利さから商品経済が発達し、情報が比較的早く伝わりやすい開放型の地域です。

“庭園の町・蘇州”として多くの文化的な庭園や寺院があり、網師園をはじめ9カ所がユネスコ世界遺産に認定されており、長い歴史と新しい発展が織り合う都市となっています。

友好都市締結40周年事業

昭和57年に寄贈した天体望遠鏡

蘇州市青少年天文観測センターが、蘇州市相城区に「中日友好天文台」として新設されました。昭和57年に天体望遠鏡を寄贈した経緯から、天文台新設に伴い、再度天体望遠鏡を寄贈します。

また、毎年相互の青少年派遣事業や行政・民間レベルの交流を行っていましたが、今年度も、コロナ禍のため往来事業は全て中止となりました。そんな中、それぞれの市で、互いのまちを紹介する写真展を開催することになりました。



■蘇州市写真展

時 4年1月12日(水)～17日(月)午前10時～午後6時(17日のみ午後4時まで) 場 ギャラリーいけだ

池田市×蘇州市

友好都市締結 40周年

本市は、昭和56年の蘇州市(中国)との友好都市締結から今年で40周年を迎えました。これまでの歩みを年表で紹介し、また、これからもお互いの理解を深め、友好関係をさらに進展させます。
問 人権・文化国際課 ☎ 754・6232

1月

池田市子供使節団(団員20人)を結成し蘇州市を訪問。子どもたちの作品交換をはじめ相互交流を実施。また、天体望遠鏡の基礎設置も行う。

11月

蘇州市経済貿易界代表団が本市を訪問。池田商工会議所で、友好都市締結10周年記念「'91中国蘇州市文化物産展(貿易経済技術協力商談会)」を開催。

1982

(昭和57年)

1991

(平成3年)

交流の
あゆみ

1981

(昭和56年)

6月

池田市・蘇州市友好都市締結調印のため、蘇州市友好代表団が本市を訪問。調印式などに参加。

10月

友好都市締結答礼訪問のため池田市友好代表団が、蘇州市を訪問。友好都市締結を記念して天体望遠鏡の目録を贈呈。

1984

(昭和59年)

6月

友好都市締結3周年を記念して、蘇州市訪日友好代表団が池田市を訪問。水月公園に設置した「斉芳亭」の除幕式を開催。



蘇州市と友好都市締結



5周年記念として蘇州市物産展を開催(1986年)

友好都市締結の経緯

昭和54年、池田市日本中国友好協会設立を記念して蘇州市に訪問団を派遣しました。蘇州市を訪問した際、本市に機織りの技術を伝えたといわれるアヤハトリ・クレハトリが蘇州市でも地方開発の祭神としてあがめられている歴史的経緯を紹介し、相互理解を深めるなかで友好都市締結が話題となりました。

その後も、訪問団が行き来するなど友好を深め、昭和56年6月に当時の蘇州市長が本市に来訪し、友好都市締結の調印式を行いました。

多文化共生の地域づくりをめざして

本市は地域における多文化共生社会の実現をめざし、多言語による情報提供や通訳のサポート、日本語教室開催など、地域に暮らす外国人が地域社会に参画できるよう、ボランティアの皆さんと共にさまざまな事業を行っています。

この役割を担っている施設が、国際交流センターです。

国際交流センター(Ikeda Multicultural Center)の紹介

関人権・文化国際課 ☎ 754・6232



交流 (Crosscultural Communication)

● にほんごサロン (Nihongo Salon)

日本語を学びたい外国人のための、大人向けの日本語教室です。ボランティアと楽しく日本語で交流しましょう。 ※詳しくは19ページ。



● T B Y (To Be Yourself)

外国にルーツを持つ子どもが集まります。日本語の勉強や宿題のお手伝いをしてもらえます。 ※詳しくは19ページ。



相談 (Consultation)

日常生活で悩んだり、分からないことがあれば気軽に相談できます。相談内容を他人に教えることはありません。いろいろな言葉で無料で相談ができます。 ※詳しくは19ページ。



生活情報 (Living Information)

● 池田くらしの情報 (Ikeda Public Information)

市が発行している情報誌です。市からのお知らせやイベント情報がのっています。2か月に1回、いろいろな言葉で作成しています。



● 暮らしの便利帳 (Ikeda City Living Guide)

転入者向けにお渡しする本です。生活に困ったとき活用できます。



● IMC facebook

IMCの新しい情報はフェイスブックを見てください。災害のときも新しい情報をのせています。





広報いけだをアプリで「読む・聞く」

カタログポケット (Catalog Pocket) を使えば、10言語で「広報いけだ」を読むことができます。日本語で読むことが難しい人はアプリを使ってください。

■ 利用方法

① アプリをダウンロード (無料)



iOS



Android

※端末の対応言語が日本語以外の時は、アプリのダウンロード時に対応言語を自動判別されます。

② アプリから検索を押す

※iOSの場合→画面下部の検索・Androidの場合→左 上 3 本線から検索。

③ キーワードに「池田市」と入力

④ 入力したら検索を押す



☎ 広報シティプロモーション課 ☎ 754・6202

■ 便利な機能

自動翻訳機能

① 対応言語で読みたい言語を押す

② 「(選択した言語)で読む」を押す



音声読み上げ機能

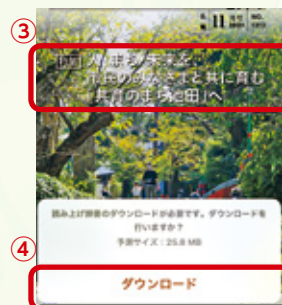
※ベトナム語は同機能に対応していません。

① 読む画面右上の🗣️を押す

② 読み上げを押す

③ 読みたい箇所を押す

④ ダウンロードを押し、再度読みたい箇所を押す



IMC スタッフからのメッセージ

国際交流センター (IMC) がオープンした平成27年、本市の外国人市民は1,385人でしたが、現在は1,908人(9月現在)と、人口の約1.8%まで増加しています。今後もさらなる増加が見込まれ、地域における多文化共生施策は、ますます重要になってくると考えています。

IMCでは、外国人と日本人が共に地域で安心して暮らせるよう、外国人市民への支援事業や日本人市民との交流事業を実施してきました。4年4月には石橋に拠点を移し、「ダイバーシティセンター」として、これまでの多文化共生事業に加えて、男女共同参画事業も実施します。建物内には石橋図書館や地域子育て支援拠点も入居し、連携してさまざまな取り組みを展開する予定です。ぜひお越しください。

■ 国際交流センター

城南 3-1-40 (保健福祉総合センター 2階) ☎ 735・7588

開館時間：午前9時～午後5時、休館日：第2土・日曜日



新施設の愛称が決まりました ～ツナガリエ石橋～



4年4月1日(金)に開館する(仮称)石橋地域拠点施設の愛称が「ツナガリエ石橋」に決定しました。全国から寄せられた500件の中から選考されました。

石橋図書館、ダイバーシティセンター、地域子育て支援拠点の3つの施設それぞれが、多くの利用者の笑顔で「つながる」場所になってほしい、という願いが込められています。

阪急「石橋阪大前駅」から徒歩5分とアクセスのよい施設となっています。